

# 立坑プログラム

SI 単位対応版

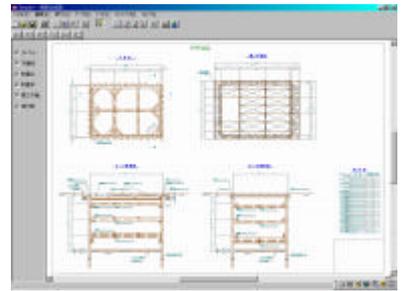
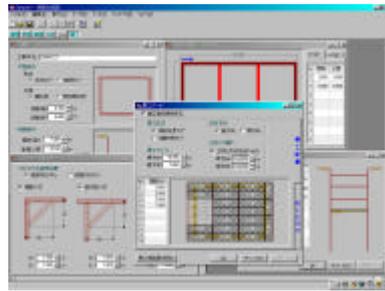
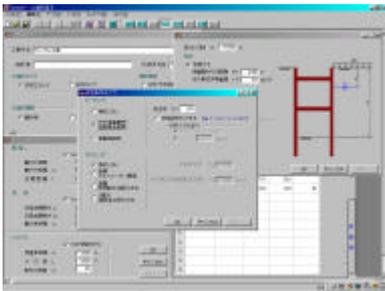
Windows®95 / 98 / NT / 2000 / Me

本プログラムは、山留安定計算を SI 単位系を用いて慣用法により行い、仮設立坑の作図を行います。設計部の『山留計算』作画部の『立坑図』の 2 プログラムから構成されており、既存の設計計算書から作画だけを行うことも可能です。

使用部材の入力設定で部材配置を考慮した作図を行うことができます。出力もプリンタ出力以外に弊社汎用 CAD 「陣」用ファイル、汎用 CAD データ形式 (DXF ファイル) をサポートします。

< 計算機能：山留計算 >

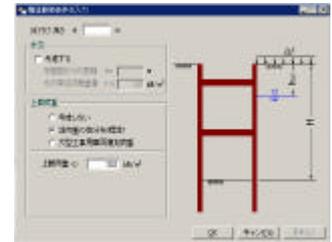
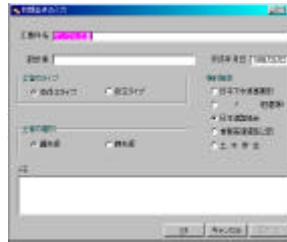
< 作画機能：立坑図 >



## 概要

計算は 2 タイプ、2 形式、4 基準を選択して使用ができます。

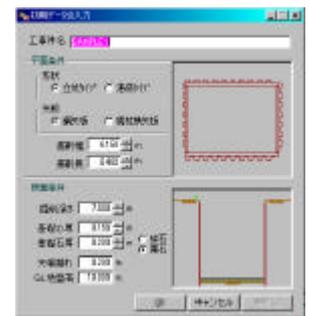
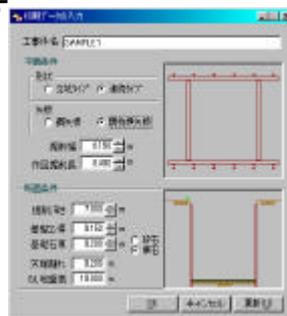
タイプ	支保工タイプ 自立タイプ
形式	鋼矢板形式 親杭横矢板形式
検討基準	日本下水道事業団規準 (新旧 2 基準) 日本道路協会規準 首都高速公団規準 土木学会規準



作図は 2 形状、2 矢板種別を選択して行うことができます

形状	矩形立坑タイプ 連続タイプ (管渠部などの土留め)
壁体種	鋼矢板、親杭横矢板
矢板種別	普通鋼矢板 (FSP、NSP)

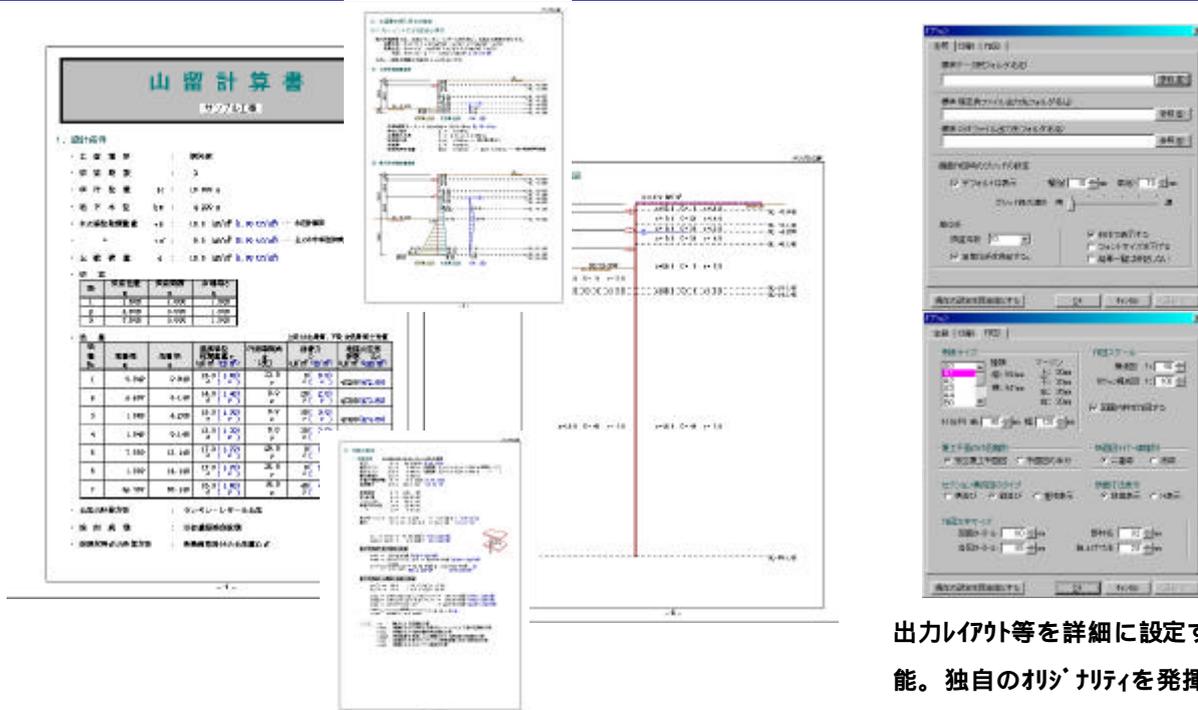
覆工板設置を考慮した天端離れの入力をサポート



## 参考文献

日本下水道事業団 (旧規準)	構造物設計指針 第 3 章 仮設構造物設計 平成 11 年 12 月日本下水道事業団
日本道路協会	土木設計 (仮設構造物設計) 指針 平成 4 年 3 月日本下水道事業団 (社)全国上下水道工務協会
首都高速公団	道路土工 仮設構造物工指針 平成 11 年 3 月社団法人 日本道路協会
土木学会	首都高速道路 仮設構造物設計基準 平成 2 年 10 月(財)首都高速道路厚生会
SI 単位系の諸元	トンネル標準示方書 (開削編)・同解説土木学会
鋼材諸元	(社)日本道路協会 道路橋示方書・同解説 SI 単位系移行に関する参考資料 (平成 10 年 7 月)
	道路土工 仮設構造物工指針 平成 11 年 3 月 参考資料-3 仮設用鋼材の断面性能表
	建設用資材ハンドブック CD-ROM 版 (1997 年 9 月)

# 計算書出力

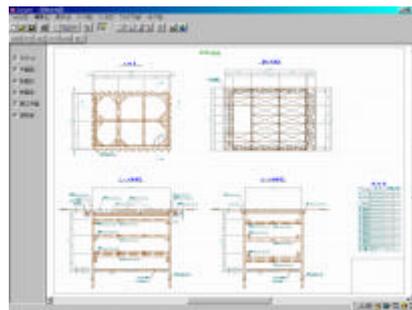


出力レイアウト等を詳細に設定する事が可能。独自のオリジナリティを發揮できます

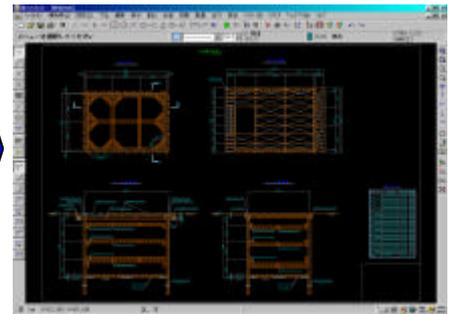
< 視覚的な出力形式 >

# 作図出力

- ・ 図面出力は、直接若しくは dxf へのファイル出力が可能です。
- ・ 弊社汎用 CAD 「陣」では計算結果を読み取り、より短時間に編集する事ができます。



< 作画画面イメージ >



< 作画図を「陣」で加筆修正 >

# 動作環境

## ハードウェア

Windows95/98/NT/2000/Me 日本語版が動作する環境。

12MB 以上の空き領域を持つハードディスク。

Windows95/98/NT/2000/Me 日本語版がサポートする A4 サイズ印刷可能なプリンタ。  
解像度 800×600 以上、カラーパレット 256 色以上 (High Color 16ビット以上推奨)  
表示可能なディスプレイ。

## ソフトウェア

Windows95/98/NT/2000/Me 日本語版。

\* WindowsNT4.0 は ServicePack 3 以上が必要です。

\* WindowsNT4.0 にインストールするには管理者特権を持つユーザーでログオンする必要があります。

\* Microsoft、Windows、及びその他の製品は米国 Microsoft 社の登録商標です。  
\* 記載されている内容・仕様は改善の為、予告無く変更する場合があります。